

新宿区 NPO 活動団体登録票

申請年月日 平成 23 年 1 月 1 4 日（最終更新日：令和 5 年 9 月 1 日） No. 1 1 5

法人名 代表者名 設立年月	特定非営利活動法人 ビーマップ 瀬尾 亜希子(セア アキコ) 平成 23 年 8 月 1 8 日
主たる事務所	〒161-0033 新宿区下落合二丁目 6 番 2 0 号 パークサイド栄光 205 電話：03(6233)7150 FAX：03(3950)2289 E-mail:info@b-map.org URL:http://b-map.org/
目的 (定款の目的)	この法人は、広く一般市民を対象とし、映画や動画の視覚障害者用音声ガイド、聴覚障害者用字幕などの情報保障を求める者に対して、これらの情報の提供と普及促進に関する事業を行い、バリアフリー映画の研究・制作・上映を通して、文化振興と情報や感動を共有できる共生社会に寄与することを目的とする。
現在主に行っている活動内容	映画や動画の視覚障害者用音声ガイド、聴覚障害者用字幕などを自主制作し、上映・ライブ公演活動を通じて、感動を共有できる共生社会に寄与することを目的に活動している。新宿区を中心に都内や関東近県で、“バリアフリー映画”を音声ガイドライブナレーションと字幕付きで上映し、情報保障を求める者に対して視聴覚情報を提供し、バリアフリー映画の普及促進に寄与する活動をしている。
新宿区民を対象とした活動内容 (予定も含む)	新宿区協働推進基金助成事業(24年度)から継続して、新宿区民を対象として「みんなのバリアフリー映画上映プロジェクト」を継続して実施。バリアフリー化した(自主制作の音声ガイド・字幕付き)映画作品の上映会を、新宿区の公共施設・高齢者や障害者施設などでライブナレーション付き上映し、視覚・聴覚障害者、知的障害者のみならず、子どもや高齢者など年齢にも関係なく、「みんなで一緒に映画を楽しむ」機会を区民に提供している。 上映会に際して制作者・福祉関係者を交えた交流座談会も適宜開催し、映画の感動を共有しつつ障害についての理解や社会的課題を合える場を設け、共生社会実現の一助につながる活動をしている。また、音声ガイドの養成講座やワークショップの開催も予定している。
活動地域	新宿区全域 会場は、区民ホール、障害者福祉センター、シニア活動館、地域交流館、地域センター、その他高齢者・障害者福祉施設
活動頻度	通常、上映会は月 1~2 回、特別参加のライブ公演は随時(隔月一回程度)、会員の定例会・勉強会は毎月(第一・第三木曜日の隔週)、モニター会は随時、グループ制作作業は常時。(ただし、3 年度は長引くコロナ禍の影響を受け、バリアフリー映画の上映会・交流座談会などは活動の停滞を余儀なくされたが、徐々に回復傾向にある。)

新宿区 NPO 活動団体登録票

事業費	令和 4 年度 総事業費 (4,041,587 円) ① 特定非営利活動費 (4,041,587 円) ② ②/① = (100) %
事業年度及びその他の事業の有無	6 月 1 日～5 月 3 1 日まで その他の事業 有・ 無
所轄庁への届出書提出状況	令和 4 年度 東京都へ届出
活動分野	1, 2, 6, 14, 16, 17, 19
運営状況	① 会費 個人：年会費 2,000 円/一口 法人：月会費 10,000 円以上/一口 ② 会員の内容及び会員数 正会員 22 人 (令和 5 年 8 月現在) ③ スタッフの構成 正会員が専従スタッフを兼任、女性 15 名 男性 7 名 年齢構成 30 才代から 70 才代 ④ 意思決定の方法 役員、正会員で行っている。総会年一回、理事会年 3 回程度。
これからの課題	① 音声ガイドや字幕付きバリアフリー映画のスタンダード化に向けて、積極的に活動できる態勢と技術的・経済的基盤を整える。 ② バリアフリー映画を、一部の業界や専門家の研究・ボランティア活動のレベルから、広く一般社会に普及促進する。 ③ 欧米などの情報保障先進国の体制の研究、先進的技術を取り入れた音声ガイド台本の制作に取り組む。 ④ 青少年中心とした音声ガイド制作者の養成。 ⑤ 企業とのコラボによるボランティア活動のプロモーション ⑥ 社会的に認知される法人として、共生社会実現の課題に取り組みながら普遍的な活動をする。 ⑦ ウィズコロナの状況での活動の在り方

NPO から区民の方への PR

自主制作の音声ガイドでバリアフリー化したライブナレーション付き映画の上映を、新宿区を中心に定期的に実施している。区内の福祉施設では上映にワークショップ（アフレコ・ガイドナレーション体験）を組み合わせた企画も実施。また、協力企業の委託や提携を受けて、音声ガイド講習会の開催や新入社員研修などの実績も積んでおり、年々活動の幅を広げつつある。正会員には、現役の活弁士、映画制作関係者、関連先端技術研究者、朗読・音読の経験者、手話通訳者など、バリアフリー映画上映に不可欠な多才で有能、熱意と技術を兼ね備えた人材が集まっている。映画・動画業界、障害者福祉関係者、新宿区の行政関係者などからも評価・賛同を頂き、新宿区内を中心に都内全域での積極的な活動を継続している。他府県のバリアフリー映画上映実行委員会からの委託公演も継続して実施。